

教育成果等に関する就職先からの意見聴取結果

1. 意見聴取施設

直近5年で本学卒業生が10名以上就職している施設のうち、2施設について意見聴取（対面調査）を実施した。

2. 意見聴取日

令和6年9月17日、20日

3. 意見聴取の目的

学内教職員、学生からの内部評価のみならず、実際に本学卒業生を受け入れていただいている就職先から、卒業生の状況を踏まえた意見を伺うことで、本学の教育活動等について客観的視点を含めた検証を行い、今後の教育活動の改善に繋げる。

4. 主な調査内容

- 1) 本学卒業生についてディプロマ・ポリシー（最終頁参照）に記載する能力・資質が身についているか
- 2) 上記1)を踏まえて、本学教育活動（カリキュラム内容、教育内容等）への評価や要望

5. 意見聴取結果

1) 本学卒業生についてディプロマ・ポリシーに記載する能力・資質が身についているか

- ・キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解した看護を提供できている。
- ・各大学が基本（建学の精神や教育理念等）としている考え方については身につけている。個々の学生により特徴はあるものの、全体として、基本的考え（芯）を持ち、人として真面目である。
- ・聖マリア学院大学卒業生は、全人的看護など疾患看護ではなく、対象である人の背景（病気に対する思いや家族のサポート状況など）を捉えることができている。
- ・GWではリーダーとなりディスカッションを進めることできていた。
- ・他学卒業生と比べ劣っている点はない。
- ・倫理観、看護観をもって、業務に当たっている。
- ・記録も丁寧に記載し、責任感もある。
- ・学びに対して深みを持っている。

2) 本学教育活動（カリキュラム内容、教育内容等）への評価や要望

- ・聖マリア学院大学卒業生に限ったことではないが、発信力や前に踏み出す力を学部教育でつけておいてほしいと願う。自身で抱いた疑問を相手にどのように伝えていけば良いか、苦手な相手にも一歩踏み出してコミュニケーションをとるなどがあると良いと思

う。

- ・聖マリア学院大学卒業生は素直であるのが良い点だと思う。その分、たくましさには欠ける傾向もあるようだ。学部のうちからストレス対処法をいくつかもてるようにしておいていただけると良いと思う。

- ・離職状況等も踏まえ、看護の仕事をしたという気持ちを持った学生を育成して欲しい。

【総括】

今回調査においては、特に、キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解した看護、全人的看護など、建学の精神に基づく教育成果について高評価をいただいた。本件については、4年生対象アンケートや卒業生アンケート（卒後1・3年）においても同様の結果となっている。

卒業生アンケートにおける自己評価では、リーダーシップについて他の項目と比べ低い結果であったが、今回の調査においては、本学卒業生が多い環境要因もあるが、リーダーシップについても一定の評価を得ることが出来ている。

本学教育に求める内容（本学に限定することなく学部教育全体に対して）としては、「発信力」「前に踏み出す力」「疑問を相手に伝えるコミュニケーション力」「たくましさ（ストレス対処法）」「看護師として働くことへの意欲」などが聞かれた。

<参考；本学看護学部ディプロマ・ポリシー：2021年度以前入学生>

キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解し、看護専門職を目指す者として、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングの実践者としての態度を身につけているとともに、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を具備していることを求め、以下のとおりディプロマ・ポリシーを定めます。

－知識・理解－

1. キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解している。
2. 豊かな人間性の基礎となる教養を身につけている。
3. 看護実践に必要な基本的かつ専門的知識を身につけている。

－思考・判断－

4. 論理的、科学的思考に基づいて看護実践の場における諸問題を発見することができる。
5. 看護実践の場における問題を解決するための実践的な判断力を身につけている。

－技能－

<汎用的技能>

6. 国際化する現代社会において必要とされる基本的な語学力・コミュニケーションスキルを身につけている。
7. 情報化する現代社会において必要とされるICTを用いて多様な情報を適切に収集・分析し、モラルに則って効果的に活用することができる。

<専門的技能>

8. 看護実践に必要な基本的技術を身につけている。
9. 科学的根拠に基づいた看護を提供できる。
10. 看護専門職を目指すものとして、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングを実践できる。

－関心・意欲・態度－

11. 多様な価値を持つ人々を尊重しようとする姿勢を身につけている。
12. 保健医療福祉にかかわる多職種と協調し、リーダーシップやフォロワーシップを発揮する能力を身につけている。
13. 地域社会や国際社会の発展を追究し、主体的に貢献する姿勢を身に着けている。
14. 看護学の発展に寄与することを望み、生涯に亘り主体的に探求する姿勢を身につけている。